

経営改善計画期間中の具体的改善策と実施時期等

項目	課題	実施期間	具体的な改善策
	栽培品目の収益性の改善	令和4年8月1日～令和5年7月31日	収益率の低い青梗菜から収益が見込めるキュウリ栽培の拡大とパクチーの周年栽培の安定化。夏場の高温対策と冬場の暖房導入の是非が鍵となる。
	農業資材の生産	令和4年8月1日～令和5年7月31日	止まっていた協力法人との会合を開始し、協力体制を早期に確立する。生産場所の確保と設備導入に掛かる資本が鍵となる。
	他業種との連携	令和4年8月1日～令和5年7月31日	弊社単独ではやれることは限られていることから、積極的に他業種との連携を進める。太陽光発電業者との農福連携での観光農園を進める。

(注) 経営改善を行う項目(例：営業体制の強化、経費削減、販路拡大等)を記載するとともに、課題を記載し、その課題に対応するための実施期間と具体的な改善策をそれぞれ記載する。適宜欄は追加する。

(計画期間中の見込額)

(単位千円)

令和4年		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	計
収益	就労支援事業収益													
	就労支援事業活動収益計	849	1,621	2,544	1,464	1,330	1,911	2,181	2,300	1,876	2,246	2,017	1,761	22,100
費用	就労支援事業販売原価													
	期首製品(商品)棚卸高													
	当期就労支援事業製造原価	1,538	2,105	2,085	1,886	1,781	1,908	1,969	1,927	2,026	1,884	2,015	2,046	23,170
	当期就労支援事業仕入高													
	期末製品(商品)棚卸高													
	就労支援事業販管費													
	就労支援事業活動費用計													
	就労支援事業活動増減差額	-689	-484	459	-422	-451	3	212	373	-150	362	2	-285	-1,070
	支払い資金総額	1,018	1,023	1,045	1,132	1,132	1,306	1,306	1,306	1,511	1,511	1,511	1,511	15,312

(前年度実績)

令和3年		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	計
収益	就労支援事業収益													
	就労支援事業活動収益計	1,018	1,175	1,845	1,062	964	1,385	1,582	1,668	1,360	1,629	1,462	1,277	16,427
費用	就労支援事業販売原価													
	期首製品(商品)棚卸高													
	当期就労支援事業製造原価	1,821	2,180	2,159	1,953	1,844	1,976	2,040	1,995	2,098	1,952	2,088	2,120	24,226
	当期就労支援事業仕入高													
	期末製品(商品)棚卸高													
	就労支援事業販管費													
	就労支援事業活動費用計													
	就労支援事業活動増減差額	-803	-1,005	-314	-891	-880	-591	-458	-327	-738	-323	-626	-843	-7,799
	支払い資金総額	1,191	1,447	1,249	1,206	1,255	1,153	1,213	991	1,131	996	1,139	1,139	14,110